様式２

令和６年度 （所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

○　課題・目標別実施結果

課　　題	目　　標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）【必須】	職員行動指針、倫理に関する指針を念頭に、教育公務員であることを常に自覚し、法律やきまりに従って行動する。	○隔月で定例に行う不祥事防止会議の報告を職員会議で研修として行っている。年間予定に沿った不祥事防止に関する注意喚起に加えて、臨時で共有すべき事は、Teams掲示板を活用し迅速に周知することができた。 ○職員行動指針、倫理に関する指針については、研修の際に資料として添付し、意識できるように働きかけた。また服務関係の研修を行い、教育公務員の自覚をもって行動することを再確認し、自身の行動を振り返ることができた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須】	他者の人格を尊重した言動・行動を心掛け、風通しのよい、良好な職場環境を作る。	○教員の児童・生徒に対する言動について、全体で周知確認が必要な事柄については、職員会議等職員全体に周囲できる場面で伝え、各自が自身の行動を振り返る機会とした。 ○教員間のハラスメントについても、不祥事防止研修において、日頃の言動や行為について注意喚起するとともに、職員間の人権尊重と良好なコミュニケーション等について理解を深めた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須】	児童生徒の人権を尊重した関わりを常に意識し、年齢や性別を意識した指導を行う。	○様々な指導場面で、その場面だけを切り取ったときに、客観的にどのように見えるのかということを考え指導に当たった。 ○「さん付け」呼称を呼びかけたが、呼び捨て、愛称で呼ぶなど徹底はできていないので、引き続き全体へ注意喚起を行っていく。 ○児童・生徒と二人だけにならないよう、複数で対応する必要がある場合はそのように行うよう、全体で確認をした。
体罰・不適切な指導の防止　【必須】	児童・生徒の人権を尊重し、気持ちに寄り添った指導を実行する。	○教育活動を通した児童・生徒への言動について、全体で周知確認が必要な事柄については、職員会議で行う定例の不祥事防止研修や、臨時の全体会等で、各自の行動を振り返る機会を設け人権尊重の意識向上努めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止　【必須】	児童・生徒の関係資料の適切な処理を行う。	○個別教育計画や進路関係資料、入学選抜にかかわる資料について、机上に置いたままにしないことや、受け渡しは手渡しで行うこと、鍵のかかる場所で保管することを徹底した。 ○セキュリティプリントについての研修を行い、印刷の際に設定して印刷することを徹底し、取り忘れや、他の書類への混入を防いだ。年度が替わる４月に新転任者への研修により、徹底する必要がある。

個人情報の管理、情報セキュリティ対策 （配付物や提出物の管理・誤配付防止、文書等の安全な保管・誤廃棄防止、セキュリティ対策）	個人情報等の適正な管理と運用を徹底する。	○児童・生徒への配付において、個人情報が含まれているものについては、ダブルチェックをするなど、誤配付防止に努めた。 ○文書廃棄は、複数で確認をした上行った。 ○校外への個人情報持ち出しは、校内の手続きに則って行った。 ○マチコミメール、電子メールで重要情報提出については、慎重に、ダブルチェックしながら行い、送信間違いを防いでいる。 ○Ｘやホームページへの掲載、また写真の外部への提供については、起案の段階で情報公開許可の有無を確認し、細心の注意を払って行った。活動の様子を写真に撮る場合、必ず学校関係者による撮影としている。
交通事故の防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守を徹底する	○飲酒運転での事故発生については、年末の休みに入る前に、掲示板等で再確認するとともに注意喚起を行った。
業務執行体制の確保等	情報共有、相互チェック体制、業務協力体制を構築する。	○リーダーを中心に仕事の進行管理を行い、適切な業務執行が行われているか確認を行った。 ○日ごろの管理職による校内巡回、正規職員は自己観察の面接時に様子の確認、臨任、非常勤職員も全員面接を行い、勤務の様子等状況の確認を行った。負担が一部に集中している状況、業務の進捗状況等気になることがあった場合は、その都度声をかけるようにした。
財務事務等の適正執行	適切な会計処理を行い、事故を未然に防止する。	○適切な執行ができるよう、私費と県費についての確認や、買い物をする際のルールを再度確認した。宿泊学習において、旅行業者に支払う企画料、旅行業者引率費用について、徴収源と内訳を事前に確認していく。 ○学校に現金を置かないように周知し、支払いにはネットバンキングを利用した。 ○財務事務調査での指摘を次年度以降の会計事務につなげていく。

○令和６年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和７年度に取り組むべき課題（学校長意見）

定例に行う不祥事防止会議の報告を職員会議で研修として行った。不祥事防止に関する注意喚起に加えて、臨時で共有すべき事は、Teams掲示板を活用し迅速に周知している。児童・生徒との関わりや言動、「さん付け呼称」の徹底等、各自の行動を振り返る機会を設け人権尊重の意識向上に努めた。人権意識の向上は、今後も引き続き行い、教育公務員としての自覚を更に促して行きたい。